

Advancing Company YAC



第**54**期 中間
ビジネスレポート

2025年4月1日～2025年9月30日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

東証プライム 証券コード: 6298



ワイエイシホールディングス

グループ傘下全20社

国内11社(国内孫会社3社)
海外2社(海外孫会社4社)

(2025年4月1日現在)

半導体・メカトロニクス関連事業



コア技術

レーザ、イオンビーム技術
切断技術
精密研磨、ハンドリング技術
薬液応用技術
高速ハンドリング、キャリアテープ技術

医療・ヘルスケア関連事業



コア技術

医療用機器製造技術
電子機器製造技術
自閉スペクトラム症(ASD)のスクリーニングサービス
精密な毛髪検査を可能にする全自動切断技術
血液マーカーを活用した疾患解析技術

環境・社会インフラ関連事業



コア技術

工業計器技術
制御通信技術
精密加熱技術
ドライエッチング技術
衣類のクリーニング自動仕上げ技術
リネンサプライ/アパレルのフィルム・炭素繊維・発泡素材関連技術
自動光学検査技術
光計測技術

環境・社会インフラ関連事業

グループ企業

大倉電気株式会社

— 宝産業株式会社

株式会社ワイエイシデンコー

JEインターナショナル株式会社^{※1}

— 株式会社GDテック^{※1}

TTホールディングス株式会社

— 株式会社テクノオプティス

ワイエイシマシナリー株式会社

瓦愛新(上海)国際貿易有限公司



フラットパネルディスプレイ用
ドライエッチング装置



人体フォーマー



縦型熱処理炉



透析装置



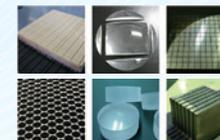
全自動高感度デジタル
免疫測定システム



全自動毛髪スライサー



エンボスキャリアテープ



切断技術



パワー半導体素子用
レーザアニール

医療・ヘルスケア関連事業

グループ企業

ワイエイシエレクトクス株式会社

ワイエイシバイオ株式会社

YAC Systems Singapore Pte Ltd.^{※2}



自閉スペクトラム症(ASD)
スクリーニングサービス



しなやか先端技術企業集団

ワイエイシグループは、様々な産業の専門分野で、
人々の生活に安心と豊かさを与える製品と
その「製造装置や各種機器」を生み出す
プロフェッショナルな企業の集合体です。

2025年4月1日より、各セグメント下の構成会社を変更いたしました。

市場の変化に対応し、ビジネスの親和性を考慮したグループ再編を実施することで、セグメント内の各社がより強いシナジーを発揮できる体制を整えました。

※1 JEインターナショナル(株)並びに(株)GDテックは、半導体・メカトロニクス関連事業から環境・社会インフラ関連事業へ変更
※2 YAC Systems Singapore Pte Ltd.は、半導体・メカトロニクス関連事業から医療・ヘルスケア関連事業へ変更

半導体・メカトロニクス関連事業

グループ企業

ワイエイシメカトロニクス株式会社

ワイエイシガーター株式会社

— 蘇州嘉大電子有限公司(蘇州拠点)

— 嘉大精密科技股份有限公司(台湾拠点)

— NIHON GARTER PHILIPPINES, INC.(フィリピン拠点)

— NGC GARTER(M)SDN, BHD.(マレーシア拠点)

ワイエイシビーム株式会社

株式会社ワイエイシダステック





代表取締役会長兼社長
百瀬 武文

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに『第54期中間ビジネスレポート』をお届けいたします。

当中間連結期間における当社の状況は、各指標とも前年同期に対して増加し、売上高13.8%増、営業利益28.5%増、受注高16.1%増、受注残4.3%増となりました。

当第1四半期連結期間におきまして営業赤字を計上し、ご心配をおかけしましたが、当時の発表通り、中間期におきまして挽回することができました。

通期の業績につきましては、ここ数年、開示しております業績見通し値を下回っておりますので、今年度におきましては、期初に発表しました数字(売上高300億円、営業利益20億円)を全うし、更に凌駕すべく、邁進してまいります。

また、中期的な目標として2030年に売上1,000億円企業を、更に長期的な目標として、創立100周年(2073年)に売上3兆円企業の仲間入りを果たすという目標を掲げ、これらの達成を図るための戦略を進めてまいります。

当社は、米国Linus Biotechnology(ライナスバイオテ

クノロジー社)との連携のもと、自閉症など、様々な疾病を早期発見するビジネスの開始に向かって着々と準備を進めております。病気に苦しむ多くの人や、そのご家族の希望となるよう、早期の事業化を目指してまいります。また、次世代テクノロジーとして日本認知症学会学術集会においてお披露目させていただきました超高感度多項目測定装置「KI-ZA-SHI」は、新しい微量バイオマーカー測定の世界を切り拓きます。こちら、認知症はじめその他病気の治療に向けた研究を加速する事が期待されます。

このほかにも、SDGsの理念に即した量産新製品の開発を複数、強力に進めております。これら新製品の進捗は随時報告させていただいておりますので、楽しみにお待ちください。また、従来のB to Bに加え、B to Cへの積極的展開も視野に入れ、成長への加速を図ってまいります。

なお、当社は、当期中間決算発表と同時に「自己株取得」と「累進配当の導入」を発表させていただきました。今後も引き続き、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

さあ今日も、ときめきと感動の日々であれ！

創業理念 1973年制定

継続発展

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

成長理念 1985年制定

社会貢献

1. 社員の豊かさを追求する(経済的、精神的)
2. 国・地方自治体により多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

究極の理念 2020年制定

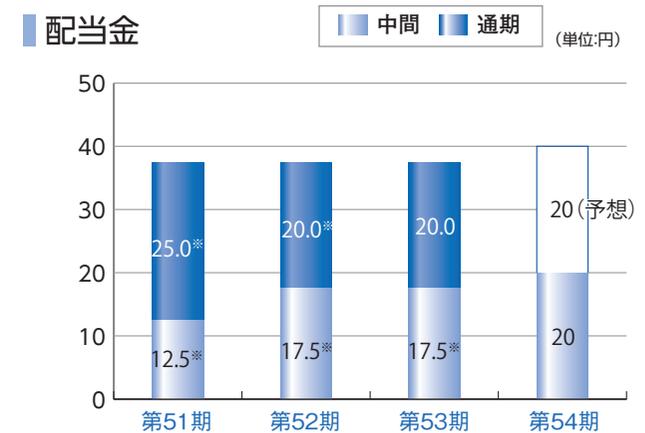
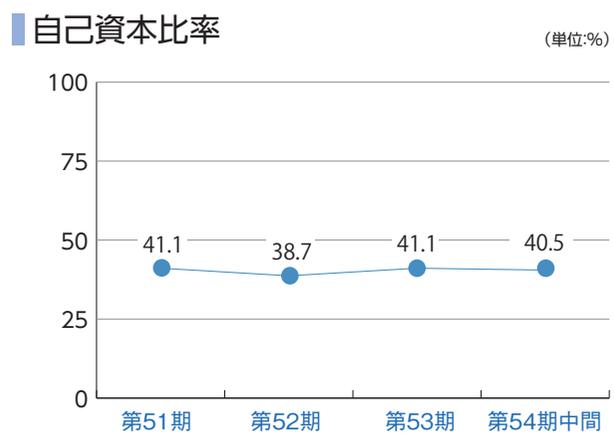
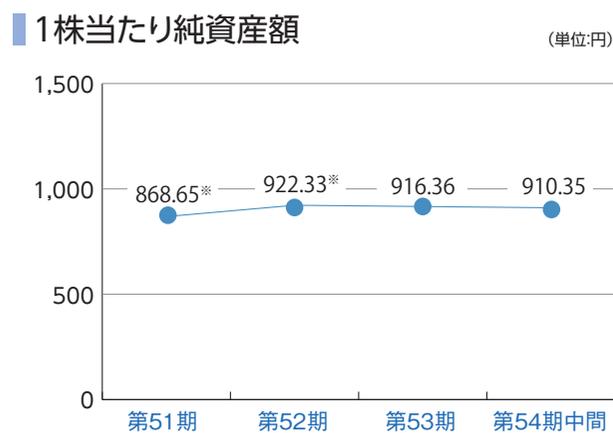
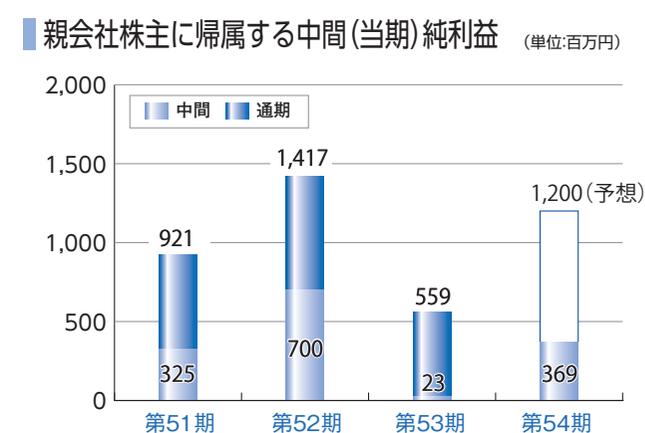
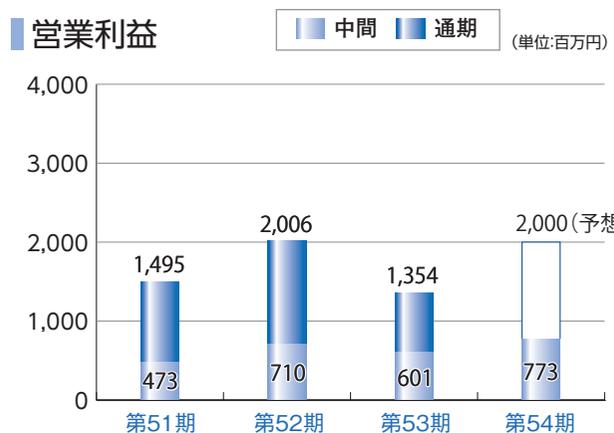
SDGs 持続可能な社会へ

- ～より多く社会に貢献するために～
1. 社員・グループの成長
 2. 全員経営・連携と競争
 3. SDGs経営の推進
 4. 納税額の拡大

連結財務ハイライト

	第51期	第52期	第53期	第54期中間	第54期通期(予想)
売上高	24,114百万円	26,809百万円	23,041百万円	12,850百万円	30,000百万円
営業利益	1,495百万円	2,006百万円	1,354百万円	773百万円	2,000百万円
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	921百万円	1,417百万円	559百万円	369百万円	1,200百万円
1株当たり純資産額	868.65円*	922.33円*	916.36円	910.35円	—
自己資本比率	41.1%	38.7%	41.1%	40.5%	—
配当金	37.5円*	37.5円*	37.5円*	20.0円	(年間合計) 40.0円

※当社は2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、第51期(2023年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」及び「配当金」を算出しております。



※2025年1月1日付で実施した1:2の株式分割を遡及した金額で作成

※2025年1月1日付で実施した1:2の株式分割を遡及した金額で作成

事業概況

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における世界経済は、米国の堅調な消費と雇用から緩やかな回復基調となりました。しかし、インフレ鎮静化による利下げへの期待が高まる一方、依然、米中貿易摩擦や地政学的リスクが貿易環境に不透明感をもたらしています。

日本では、円安が輸出関連企業の収益を押し上げたものの、物価高による実質所得の低下が個人消費を抑制し、内需の回復は依然として鈍い状況にあります。そのため、設備投資は一部業種で活発化がみられましたが、全体としては慎重な姿勢が継続しています。

当社が主に関連する半導体業界では、生成AI関連の需要が高水準を維持し、先端ロジックやメモリ分野が回復傾向を示しつつもEV市場の成長鈍化により、パワー半導体の需要

見通しは下方修正されています。

このような経済環境のもと、当中間連結会計期間の業績は、売上高128億50百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益7億73百万円（同28.5%増）、経常利益6億58百万円（同109.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益3億69百万円（同1,461.8%増）と、増収増益になりました。

経営の現状と通期見通し

当社グループは現在、中期経営計画（2024～2026年度）のもと、2030年における売上1,000億円企業の仲間入りを目指し、事業を推進しております。

しかしながら、経済環境がデフレからインフレへと転換し、当社グループの経営環境は大きく変化したことに加え、金利の上昇、原材料の高騰、人件費の上昇、世界貿易ルール

の変化などの影響を鑑み、中期経営計画における2025年度及び2026年度の業績目標数値の見直しを行いました（2025年5月19日公表）。

その結果、2026年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、売上高300億円（前連結会計年度比30.2%増）、営業利益20億円（同47.6%増）、経常利益18億円（同60.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益12億円（同114.6%増）といたしました。なお、中期経営計画の基本コンセプトに変更はございません。

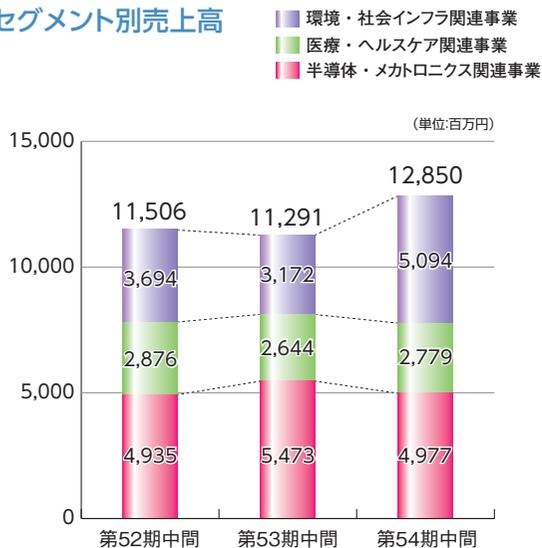
また、株主還元につきまして、2026年3月期の中間配当より、配当政策を変更いたしました（2025年11月13日公表）。事業成長のための投資や財務状況を勘案しつつ、累進配当を行うことを基本方針といたします*。

*累進配当とは、1株当たり配当金の前期実績に対して、配当維持または増配を行うものです。
*M&A等の大きな投資機会発生の際には、この限りではございません。
*2026年3月期通期配当予想については、変更ございません。

セグメント別の状況

※当社は、2025年4月1日より事業セグメント構成会社の変更を行っております。

セグメント別売上高



半導体・メカトロニクス関連事業

(半導体製造装置をはじめ、その生産ラインや関連商品)

電子部品のテーピング装置や半導体関連のグリーンコンベアが好調に推移しました。また、市場全体では不調が指摘されているパワー半導体分野においても、半導体外観検査装置やSiC用有機洗浄装置の販売等の売上を確保しました。

これらの結果、売上高は49億77百万円（組替後前年同期比0.2%減）となり、セグメント利益は7億46百万円（同7.4%減）となりました。

医療・ヘルスケア関連事業

(医療用機器、電子機器製造、毛髪エクスポゾーム解析及びバイオマーカー開発)

次世代型透析装置の生産への移行が進みました。また、毛髪を使った診断補助サービス「ClearStrand®ASD」の提供を開始しました。

これらの結果、売上高は27億79百万円（組替後前年同期比3.2%増）となり、セグメント利益は1億51百万円（同1.6%増）となりました。

環境・社会インフラ関連事業

(電力インフラ用工業計器・産業通信機器製造や脱プラスチック装置、クリーニング機械等)

電力会社の猛暑対策により、設備を止めて行う新設及び増設等が延期されたことに加え、電子部品向け光学検査装置の投資が先送りされたこと、ホームクリーニング業界の低迷による関連装置の需要減少が重なりましたが、光計測関連及びFPD関連事業が堅調に推移したことにより増収増益となりました。

これらの結果、売上高は50億94百万円（組替後前年同期比41.1%増）となり、セグメント利益は3億3百万円（同352.6%増）となりました。

自閉スペクトラム症(ASD)の早期発見をサポートする、新たな検査のかたち

ワイエイシイバイオ社、「毛髪を用いた診断補助サービス」を開始！

——最先端技術で子どもたちの未来に貢献する

ワイエイシイグループの一員であるワイエイシイバイオ株式会社(以下、バイオ社)は、2025年7月より、米国Linus Biotechnology社(以下、ライナス社)と、日本国内で自閉スペクトラム症(ASD)診断補助サービス「ClearStrand®-ASD」(クリアストランド)を開始いたしました。

本サービスは、生後1か月から4歳までのお子様を対象とした診断補助サービスです。言葉による問診が難しい乳幼児に対して、毛髪に含まれる成分を解析することで医療従事者による診断をサポートします。採血などの身体的負担も伴わない、新たな“やさしい”検査方法です。

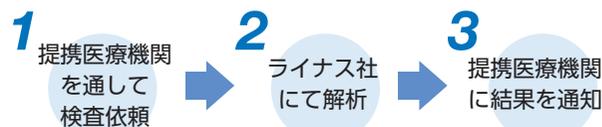
検査は、バイオ社とライナス社で共同開発した全自動毛髪切断装置「SAMURAI」(自動毛髪スライサー及び全自動マウンター)によって支えられています。本サービスは両社の技術の融合によって実現されたものとなります。

本サービスにより、診察を待つ患者様の時間的・精神的負担を軽減し、医療機関においても専門医がより必要性の高い患者様に集中できる環境が整うと考えられます。そして、ASDの早期発見・早期介入の実現は、子どもたちの将来に大きな可能性をもたらすことがわかっています。

バイオ社は、今後も社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、更なる成長を目指してまいります。引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ClearStrand®は、米国LINUS BIOTECHNOLOGY社の登録商標です。
※「ClearStrand®-ASD」は自閉スペクトラム症(ASD)の診断を確定するものではありません。
医師による診断を補助し、より正確で早期の診断につなげるためのスクリーニングツールです。

検査の流れ



検査キット



ワイエイシイバイオ社 × ライナス社 共同開発

自動毛髪スライサー及び全自動マウンター
「SAMURAI」を活用

個人情報は厳格なセキュリティー管理を実施

結果

感度 96%

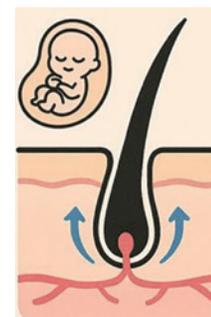
日本を含めた国際研究で高い精度が認められています⁽¹⁾。

医師による詳細な診断を検討するきっかけに

早期診断・早期治療のメリット

ASDは、可能な限り早い時期に、適切なサポートを始めることで、言葉の発達、社会性、思考力などの面で、大きな成長が期待できることがわかっています。

毛髪を用いた解析



毛髪は胎児期から作られ始め、血管から栄養やミネラルを取り込みながら伸長します。

伸長方向に沿って、切断した毛髪に対しレーザーを照射し、毛髪に含まれる元素を時系列で解析することでASDの可能性を総合的に判断します。

現在はASDに特化した解析が中心
今後はその他の疾患への応用も期待

社会的意義

公的負担

長期的な公的コスト削減へ
(社会的コスト約1.7兆円*)

医療機関

診断までの負担を軽減
診断後のケアへより注力

四方
良し

患者様

早期発見
↓
早期介入効果を得ることが可能に

ご家族

早期からの公的支援を受け
ることが可能に

(1) Austin C, Curtin P, Arora M, et al. *J Clin Med*. 2022;11(23):7154. Published 2022 Dec 1. doi:10.3390/jcm11237154

※参考：厚生労働省「令和3(2021)年度 国民医療費の概況」



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 2025年9月30日現在	前期 2025年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	29,431	29,760
固定資産	12,063	11,325
有形固定資産	7,052	7,266
無形固定資産	1,086	838
投資その他の資産	3,924	3,221
資産合計	41,495	41,086
【負債の部】		
流動負債	16,576	15,011
固定負債	8,068	8,980
負債合計	24,645	23,992
【純資産の部】		
株主資本	16,444	16,403
その他の包括利益累計額	367	474
新株予約権	37	37
非支配株主持分	-	177
純資産合計	16,850	17,093
負債純資産合計	41,495	41,086

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日	前中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日
売上高	12,850	11,291
売上原価	9,300	8,193
販売費及び一般管理費	2,776	2,496
営業利益	773	601
営業外収益	78	68
営業外費用	192	356
経常利益	658	314
特別利益	0	3
特別損失	35	4
税金等調整前中間純利益	622	313
法人税等	239	290
中間純利益	383	23
非支配株主に帰属する中間純利益	14	-
親会社株主に帰属する中間純利益	369	23

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日	前中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	508	1,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△742	△881
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	△1,321
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△246	△521
現金及び現金同等物の期首残高	7,094	7,558
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	△58
現金及び現金同等物の期末残高	6,848	6,978

株式の状況

会社が発行する株式の総数		34,388,000株
発行済株式の総数		19,517,894株
当期末現在の株主数		9,250名
個人・その他※	9,067名	13,319,811株
法人	77名	2,960,300株
金融機関	12名	2,472,400株
証券会社	36名	516,512株
外国法人等	58名	248,871株

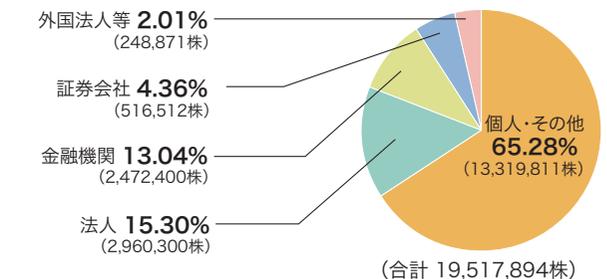
※自己株式を含みます。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社モトタケ	2,440	13.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,847	10.00
百瀬 武文	668	3.62
河合 保明	260	1.41
鶴田 亮司	233	1.26
セントラル短資株式会社	210	1.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	203	1.10
山下 良久	199	1.08
株式ロマン会	176	0.96
松井証券株式会社	136	0.74

※当社は、自己株式を1,049,708株保有しておりますが、大株主からは除外しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有株式数分布状況



会社概要

商号	ワイエイシイホールディングス株式会社
英文表示	Y.A.C. HOLDINGS CO., LTD.
本社	東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
設立	1973年5月11日
資本金	2,801百万円
従業員数	16名 (連結825名) (出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)

役員・執行役員

(2025年9月30日現在)

代表取締役会長兼社長	百瀬 武文	
取締役副社長	伊藤 利彦	
取締役専務執行役員	大倉 章裕	
取締役常務執行役員	畠山 督	
取締役執行役員	西坂 昌伯	
取締役	木船 常康	※社外取締役
取締役	森林 育代	※社外取締役
取締役	奥村 和仁	※社外取締役
常勤監査役	村上 二郎	
監査役	高田 直規	※社外監査役
監査役	飯田 哲郎	※社外監査役
執行役員	麻生 知徳	
執行役員	中津 純一	

ワイエイシイホールディングス 株式会社

〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL:(042)546-1161(代表) FAX:(042)546-1107
URL <https://www.yac.co.jp>

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行います

公告掲載URL <https://www.yac.co.jp>

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

株主・個人投資家の方々に対しての
当社の状況をわかりやすく伝えたコンテンツを
提供しております。

<https://www.yac.co.jp>



または、 で検索ください。